



令和2年9月
【004号】



株式会社ドリーム・ジーピー

【大阪本社】
〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西1丁目3-19 南海日本橋ビル1F
TEL:06-4708-4877 / FAX:06-4708-4789

【第5回】
「PW（専門職連携）の可能性を探る
～経験知と具体的事例から～」

8月23日（日）、義肢装具士の皆様へ向けての第5回オンラインセミナーを開催致しました。

今回は、講師に「一般社団法人運動神経良くなるプロジェクト（以下、同社団）」代表でスポーツリハビリテーション医の福島八枝子氏をお迎えして、『スポーツ医学研究を通して見えた予防医学という視点』と題してお話を伺いました。

生まれも育ちも関西、幼少期からスポーツが好きで、学生時代、バスケットボールの試合中に怪我を負ったことを契機に「スポーツのお医者さん」を志すように。努力の甲斐あって、日本の大学の医学部を卒業し、整形外科医として研鑽する日々も10年余り経った頃、ふと手術では解決出来ない症状があることに、それ



福島 八枝子 氏

れまでの価値観が崩れ去るほどの疑念を抱くようになった。以来、手術しなくても

治せる方法を学べる場所探しが始まったとのこと。けれども国内には該当する専門分野がなかったことから、やがて関心は自ずと国際学会へ。

そうしてアメリカのいくつかの大学にアプローチしたところ、スタンフォード大学病院との奇跡的な縁があり、同学PM&R科では日本人初となる医学研究者として採用され、2016年から2018年までの約3年間をアメリカの地で過ごされました。

なかでも、様々な機器による診断方法がある中で、超音波（エコー）による診断の優位性を明らかにした自身の研究では、2018年度米国AMSSMF Foundation「Research Grant Award」を受賞されるなど、更なる実績を残し、帰国後は、「日本版PM&R」を目指し、超音波ガイド下注射をメインに運動器超音波診療を行う傍ら、プロスポーツで活躍するPT陣と同社団の発足など、活躍されています。

海外の多くの国では既にその地位を確立している「足病医」やPM&R科の存在しない国・日本についての欧米との制度や文化面等からの比較を通して、同じく極めて専門性の高い職業のひとつである義肢装具士には今後どのような展開が望まれるのか、また、これまでの診療経験の中から様々な具体的症例を挙げて、とても平易に解説して下さいました。そして何より、「そもそも」私たちの

人生の目的は何でしょうか？」という日常生活にあってつい置き去りにしてしまっている根元的な問題を提起され、三者三様、様々な方法で、まず目の前にいるひとの課題を解決することから、「キラキラに生きるサポート」を、というアイデアに、刷らない意思の強さが自ずと物事を成就させることを改めて感じさせられるお話でした。

「整形靴学科は今後花形産業になる！」

in 神戸医療福祉専門学校三田校
【第2回セミナーのご報告】

8月26日（水）、神戸医療福祉専門学校三田校整形靴学科の学生の皆さんへ向け、2回目となるセミナーを開催致しました。

弊社では、昨年7月、兵庫県三田市にある神戸医療福祉専門学校三田校（以下、三田校）を訪問し、義肢装具士を目指す学生たちを前に、弊社機器を用いた計測会およびセミナーを開催致しました。



オンラインセミナー集合写真

情を鑑み、Web会議サービスを利用しての開催となりました。

「整形靴学科は今後花形産業になる！」と

その他、弊社取締役川合による保険適応外事業の可能性の事例として、弊社展開事業「MyFootstation」の紹介や弊社執行役員成毛による弊社開発システムを用いたフルオーダーインソール製作の実演動画紹介など、専門職連携の可能性に繋がる内容を「提案致しました。同セミナーの次回開催は、9月26日（土）を予定しています。

題して、弊社代表荒山による世情分析や、弊社の15年に及び取り組みの紹介、今後の展望の他、弊社営業中村による動画を多用した弊社取扱機器の紹介や導入実績を通して、今後必要とされるのは、従来のアナログ的なスキル（感覚値）にデジタル技術（数値化）の要素を取り込める「ハイブリッド」な人材であると結論し、学生たちの未来を照らしました。

その他、弊社研究員アハコによる「JAMBO（Japan Africa Medical Bridge Organization Project）日本・アフリカ医療の架け橋プロジェクト」の紹介や、弊社関連会社マドックの執行役員瀧本による「MyFootstation 泉大津店（大阪府泉大津市）」を活動拠点とした同市との官民連携事業「あしむびプロジェクト」の取り組み等、今後、国内のみならず世界的に需要が高まっていくと予測される健康産業の未来は益々明るいと、様々な角度から導き出した提言により幕を下ろしました。



【紹介】日々の研究、ほんのひとコマ

『安全靴における3次元形状
カスタムインソールの評価
：足底圧分布分析』

アドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビ（弊社研究員）

【前置き】

産業労働環境下における怪我防止のために、従業員は長時間（1日8時間以上）安全靴を履く必要がありますが、それにより、筋骨格系の愁訴の発生を増加させる可能性があります。Johnson氏¹⁾は、職業靴に関する以前の研究で、習慣的に、安全な靴・正しくフィットしない靴・間違っただ靴を履いて固い床の上で長時間立ちたり歩いたりすることが、足の問題の主な原因であり、これらの不安定な安全靴は、作業中に疲労や転倒を引き起こす可能性があるとして述べています。産業労働環境下において、落下のリスクを低減・防止するには、安全靴の安定性を考慮する必要があります。この研究の目的は、フルカスタムインソール（Dream GP Inc. Japan）を備えた安全靴における工業用床の歩行および足底圧分布に対する影響を評価することでした。

【方法】

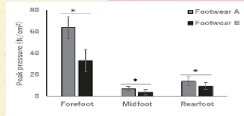
72人の労働者（52人の男性と20人の女性、年齢：48.2 ± 10.5歳、身長：165 ± 3.9cm、体重：66.9 ± 11.5kg）が研究に参加しました。カスタムインソールは、各参加者の足の三次元形状に基づいて製作されたもので、既成のインソールを装備した安全靴とカスタムインソールを装備した安全靴（以下、新旧の安全靴）は、Footscan フレッシュアプレート（Footscan、ヘルギー）を使用し、歩容データを含め、6か月間に渡り収集され、対応のあるt検定を実行して、3つの解剖学的足領域（前足、中足、後足）の6か月間の新旧の安全靴の最大圧力を比較しました。

【結果】

異なるゾーンで評価された最大足底圧は、新しい安全靴を着用し続けた6か月の間に有意な値を示し、かかとからつま先まで、古い安全靴はより高い圧力と力を示し、三次元形状データにより製作したカスタムインソールを備えた新しい安全靴は、最大の足底圧を大幅に低下させることが確認されました（図1）。

図1：2つの履物間の足領域のピーク圧力の比較

* p < 0.001



【結論】

私たちの研究では、前足（指節と中足骨）、中足、後足の3つの領域で足を解剖学的に分析しました。この産業労働環境で評価されたDream GPインソールは、足底圧分布に大きな影響を与えます。新しい安全靴の着用下で観察された圧力の低下は、古い安全靴の状態と比較して、より広い表面に明確に分布しているためと推測できます。また、新しい安全靴のインソールの効果は、歩行の推進段階で横方向に身体を安定させる傾向があります。三次元形状データによりカスタマイズされたインソールを使用すると、歩行の快適性と安定性が向上するため、産業労働環境下における疲労、怪我、落下を防止できます。これらの結果は、産業労働者のための3Dインソールと靴の設計におけるガイドラインとなるかもしれません。

【参考文献】

1) Johnson J. Footwear alleviates aches, fatigue through better fit, shock absorption. Occup Health Saf 1994; 63: 68-69.



や生活の質（QOL）の向上に貢献すること

ながらも、本来の義肢装具士の役割は、義肢装具を通じて、“医療チームの一員として”、その他の医療従事者と連携しながら疾患の治療に関わり、それを必要とする方々の日常生活

【現役学生はこう考える(不定期掲載①)】
義肢装具士の未来
～チーム医療における現状と提案～
神戸医療福祉専門学校 大塚謙吾さん

義肢装具士は長らく、チーム医療に参加しにくい現状があると聞く。義肢装具士が病院で常勤することは稀であり、所属する義肢装具会社から訪問することがほとんどであるが、“外部業者”というイメージが定着していることが、その理由のひとつも言われているようだ。

ではないだろうかと思う。医療連携を効率化するには、例えば医療従事者間のスピーディーな情報共有のために、電子カルテが必要だろう。何より、IoT（モノのインターネット）で繋がった3Dプリンターやスキャナー、CADソフト等を利用して義肢装具の製作を効率化すれば、そこで出来た時間を患者さんや医療従事者との一層深いコミュニケーションに費やすことが可能となり、その積み重ねはやがて、従来の「義肢装具士＝外部業者」というイメージを覆す大きな、かつ、確実な一歩となり得るのではないだろうかと考える。日本で一刻も早くデジタル技術を導入した義肢装具製作が普及することを望む。

第6回 Zoom 利用による無料オンラインセミナー

義肢装具士の皆様へ

【日時】2020年9月26日（土）
14:00～16:00

『導入のキッカケ、選ばれたワケ』

～弊社システム導入企業様ここだけの話～

【演題】

1. 14:00～14:10 ご挨拶 荒山元秀（弊社代表）
2. 14:10～15:20

パネルディスカッション

『導入のキッカケ、選ばれたワケ～弊社システム導入企業様ここだけの話～』

登壇者：国枝 毅士 氏（有限会社 中部義肢）

三輪 和弘 氏（東名ブレース株式会社 工場長）

～～～～～ 休憩（15:20～15:30） ～～～～～

3. 15:30～15:45

●株式会社・ジーピー東京支社からライブ実演『足底板設計ソフト “インソールG” のご紹介』

講師：成毛喜男（弊社執行役員）

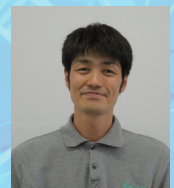
4. 15:45～15:55 『11月26日×切！ものづくり補助金申請について』

講師：中村 美穂（弊社営業）

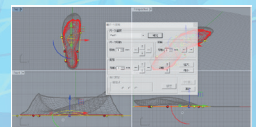
5. 15:55～16:00 質疑応答



国枝 毅士 氏



三輪 和弘 氏



「インソールG」設計画面

【お申込み・お問合せ】 ※お申込み期限：9月24日（木）

主催 (株)ドリーム・ジーピー
TEL：06-4708-4877 / FAX：06-4708-4879
E-mail：info@dreamgp.jp

・氏名（ふりがな）、貴社名、所属名・役職、電話番号、メールアドレス）をご用意の上、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。
セミナー当日、お伺いしたメールアドレスへ専用URLを送信致しますので、そちらをクリックしてご参加下さい。

